



加藤真彦

まさひこ

令和7年も
市政改革
推進中!

提案力で
実現する!

自民党

町田市議会 加藤真彦 一般質問特集

第3回定例会 (R6.3)

国の「こども誰でも通園制度 (仮称)」のモデル事業の導入を



令和8年度より「こども誰でも通園制度(仮称)」は、法律に基づく給付制度となります。

モデル事業に取り組むことで、把握した課題等を国へ意見し制度設計に反映してもらうことが、将来、市民にとって有益なものになるのではないかと考えます。また、法定実施後もスムーズな運用ができるのではないかと考え質問をし、その後町田市での実施が決まりました。



「こども誰でも通園制度」

現行の幼児教育・保育給付とは別に、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな給付。
全ての子育て家庭を対象とした保育の拡充のこと。

本格実施に向けたスケジュール

令和6年度
制度の本格実施を見据えた
施行的事業
補助基準上一人当たり「月10時間」を上限

町田市では、子どもの森保育園、カナリヤこども園、高ヶ坂幼稚園がモデル事業を実施

令和7年度
法律上制度化し、
実施自治体数を拡充
法律の地域子ども・子育て支援事業の一つとして位置づけ

令和8年度
法律に基づく新たな給付制度
全自治体で実施、内閣府で定める月一定時間までの利用枠

多摩都市モノレールの町田方面への延伸について



加藤真彦……延伸の際に車両基地が整備されると考えているが、車両基地やその周辺はどのように整備されるか？

都市づくり部長……モノレール延伸により新たに整備される車両基地と周辺環境に配慮した一体的な面整備、開発を行い、大規模な土地利用転換を図ることを目指しております。既存の車両基地(立川)の敷地の一部については、上部が都営住宅として、活用されております。このような事例を参考に検討していきます。

加藤真彦……全線開通には、時間を要することが予想されるため、部分開通の検討はどうか？

都市づくり部長……モノレール沿線まちづくり構想では、多摩センター駅周辺から町田駅周辺エリアまでつながることを前提として、目指す沿線のビジョンや取組を掲げております。町田市としては、全線開通に向けてモノレール沿線まちづくり構想に基づく取組を多摩市と着実に進めていくとともに、東京都も含めた関係機関と協議、調整を進めてまいります。

加藤真彦……モノレール開業までのプロセスについて伺います。



都市づくり部長……「モノレール沿線まちづくり構想」で掲げる、町田市と多摩市の両市で策定した「みんなが安心して快適に住み続けられるわたしの“ココチよさ”がかなうまち」を目指して、「暮らしやすさや過ごしやすさ」を向上させる取組や「移動の利便性」を高める取組を推進してまいります。これらの取組により創出される需要を踏まえて、東京都が事業性の検証を行い、事業化を図る判断を行います。東京都が事業化を図る判断をしたのちは、調査設計、事業性の精査、都市計画決定及び事業認可等の手続きが行われることになります。

認可取得後は、都市計画道路の拡幅整備や、モノレールの支柱や軌道桁、駅などの施設等の整備が行われ、モノレール開業を迎える流れでございます。